

第10回 中国政治・メディア実証研究会 現代東アジアにおける政治の諸相

主旨

近年の東アジアでは、人口移動や社会構造の変化、価値観の多様化が進む一方、伝統的価値観や社会規範が政治意識や社会行動に与える影響も改めて注目されている。中国における宗教実践や中央人事の動向に加え、日本をはじめとする地域社会での外国人受容や境界意識など、こうした変化は多様な形で表れている。中国では、急速な社会変容のなかで宗教意識や宗教実践が独自の展開をみせるとともに、制度運用の側面においては、中央政府による人事配置を通じた統制と行政上の専門性確保の両立が重要な課題となっている。第10回研究会では、こうした変化を捉えるため、サーベイデータや人事データなど多様な実証データを用い、個人の価値意識や社会的態度、宗教的实践、政治制度とエリート配置という多角的な視点から、現代東アジアにおける政治の諸相を検討する。

日時：2026年12月13日（日）10:00-12:30

開催形式：対面およびZOOMによるハイブリッド形式開催

会場：北海道大学 国際広報メディア観光学院 メディア棟 105 教室
(札幌市北区北 17 条西 8 丁目)

参加申込：

- ・現地参加：事前申込不要
- ・オンライン参加：以下のリンクから事前にお申し込みください。

<https://us02web.zoom.us/meeting/register/dCHXJIHMT1WJaisEFzanow>

言語：日本語・英語

共催：北海道大学メディア・コミュニケーション研究院東アジアメディア研究センター

スケジュール

10:00 開会挨拶

10:10-10:35 片岡香樹（早稲田大学・院）「中国における宗教活動や意識の特徴—サーベイデータに基づいて—」

10:35-10:50 「討論」・全体討論

10:50-11:15 劉一鶴（慶應義塾大学・院） 崔子健（慶應義塾大学・院）

「中国国務院における部長人事—「流動」と「定着」を中心とするキャリア分析—」

11:15-11:30 「討論」・全体討論

11:30-11:40 休憩

11:40-12:05 柴思原（Peter Chai）（早稲田大学）「Attitudes Toward Foreigners in Japan: Analysis Based on a Post-Election Survey」

12:05-12:20 「討論」・全体討論

12:20-12:30 閉会挨拶

司会：于海春（北海道大学）

討論者：工藤文（金沢大学）、周源（岡山大学）、

御器谷裕樹（慶應義塾大学・院 | Harvard-Yenching Institute）